

気候変動適応推進会議（第2回） 議事要旨

1 日時

令和元年11月25日（月）14:30～15:00

2 場所

環境省24階省議室

3 議事要旨

冒頭、小泉環境大臣の開会挨拶において、今後、気候変動対応型の防災を考えていくことも必要ではないかという思いから、環境省では「気候変動×防災」という視点を持って施策を展開中であることや、切迫する気候変動による災害の激甚化を乗り越えるべく、この気候変動適応法を基に、政府一丸となって効果的な取組を強力に推進することについて発言があった。

また、気候変動は安全保障上の脅威でもあるとの考えから、今回初めて防衛省からもこの会議に出席することとなったことや、本日の会議をきっかけに更に連携を密とし、来年の気候変動の影響評価、再来年の気候変動適応計画の見直しにつなげたい旨、発言があった。

（1）気候変動適応推進会議の構成員の追加について

- ・ 環境省から、資料1に基づき気候変動適応推進会議（以下「推進会議」という。）の構成員に新たに防衛省を追加すること、金融庁の構成員の変更について説明があった。
- ・ 本案について了承された。

（2）災害激甚化に係る気候変動適応の対応について

- ・ 内閣官房、国土交通省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省から、各府省庁における災害激甚化に係る気候変動適応の対応について報告があった。

（内閣官房）

- ・ 国土強靱化基本計画の見直し・3か年緊急対策の実施

（国土交通省）

- ・ 10月に気候変動を踏まえた治水計画のあり方提言とりまとめ
- ・ 地域に役立てられる気温や降水量に関する情報発信

(外務省)

- ・ GCF への拠出等適応に関する国際協力の推進

(文部科学省)

- ・ 気候変動に関する研究の推進、データの提供

(厚生労働省)

- ・ 水道施設の緊急点検・対策の推進

(農林水産省)

- ・ 被災農林漁業者への支援、農地の湛水被害や山地災害の防止

(経済産業省)

- ・ 台風 15 号及び台風 19 号の対応を踏まえたオペレーション改善、電力ネットワークの強靱化

(環境省)

- ・ 気候変動×防災の視点による取組

(防衛省)

- ・ これまでの災害派遣活動等を通じて認識した気候変動に係る取組の重要性、再生可能エネルギーを活用できる電力調達の検討

(3) 気候変動適応計画のフォローアップ報告書について

- ・ 環境省から、資料 3 に基づき気候変動適応計画の平成 30 年度施策フォローアップ報告書案について説明があった。
- ・ 本案のとおり取りまとめることについて、了承された。

(4) 気候変動適応法の施行について

- ・ 環境省から資料 4 に基づき、気候変動影響評価、及び気候変動適応計画の見直し等の当面の予定について説明があった。

(5) その他

- ・ 環境省から、資料 5 に基づき、国立環境研究所と各省庁所管の研究機関等との連携強化について説明があり、各府省に対し、協力の依頼があった。

最後に、佐藤環境副大臣から、新しく気候変動適応推進会議の構成員となった防衛省も含め、今後とも気候変動適応法に基づき、政府一丸となった効果的な取組を推進したい旨、お願いがあった。

また、本日お願いした各省庁所管の研究機関の連携等、引き続き関係府省庁の協力をお願いしたい旨、発言があった。